

福島県事業実施状況報告書及び評価報告書

1. 推進事業

事業費	11,232,000円 (うち交付金 5,200,000円)		事業実施主体	岳北飼料生産組合		
			市町村名	二本松市		
			事業実施年度	平成28年度		
現状と課題 (※計画地区等における現状を踏まえて、課題を数値等も交えて具体的に記述すること。)						
<p>二本松市では、平成25年度からこれまでに牧草地全体の約7割で反転耕などの除染作業を実施した。ほとんどの牧草地では利用が再開されているが、一部には、除染作業を行っても畜産団体の自主基準を超過する放射性セシウムが検出され、引き続き利用が制限されている牧草地もある。</p> <p>このような中、本県産畜産物の風評被害に加えて、輸入飼料の高騰などによる経営環境の悪化で廃業する畜産農家も多く、阿武隈山間などの立地条件が不利な地区では除染作業を実施した牧草地が遊休化する懸念がある。</p>						
課題を解決するため対応方針 (※上記の課題に対応させて記述すること。)						
<p>除染が終了した牧草地での共同利用を進めるとともに、地域内の水田のフル活用を目指し、牧草の栽培面積を拡大し自給飼料を増産する。</p> <p>今回導入する収穫調製作業用の機械を共同利用することにより、収穫調製作業の効率化を図り自給飼料の安定供給体制を確立する。</p> <p>また、併せて導入するマニユアスプレッダにより効率的に土づくりを行い、飼料作物の生産性向上を図る。</p>						
都道府県における目標関係						
取組名	成果目標	事業実施後の状況				備考
		計画時	実施後	目標	達成率	
自給飼料生産・調製再編支援事業	自給飼料生産面積の拡大	原発事故に伴い、牧草の利用が制限されている	牧草 46ha	平成31年度 牧草 46ha	100%	利用面積は、10ha増加して46haとなり、飼料生産面積の増加をすることができた。

(注) 1 別記様式1-1号に準じて作成すること。

(国実施要領別紙様式2号 別添)

別記様式16-2号

福島県事業実施状況報告書及び評価報告書

推進事業取組

取組名	事業実施主体名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		目標(令和元年度)		事業費(円)	負担区分(円)				目標達成状況 B/A×100	事業主体等による 評価結果	市町村による点検 評価結果	都道府県による点 検評価結果(所 見)
		被災前 22年度		実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内 容(計画)		交付金	都道府県費	市町村費	その他				
自給飼料 生産・調 製再編支 援	岳北飼 料生産 組合	牧草 36ha		牧草 46ha	ロールベアラ 1台 ツインレーキ 1台 マニユアスプ レッタ 1台	牧草 46ha	ロールベアラ 1台 ツインレーキ 1台 マニユアスプ レッタ 1台	11,232,000	5,200,000	3,380,000		2,652,000	100%	目標まで達成でき た。今後も整備し た機械の適正な管 理をすとも草 地利用の集積を図 り、自給飼料増産 を行う。	成果目標は達成し ていると評価す る。今後は、離農 農家の農地利用や 耕作放棄地等の活 用により利用集積 を図り、安定的な 自給飼料増産を支 援していく	作付面積は46ha となり、目標が達 成された。 今後も作付面積 の維持、拡大のた め、引き続き安定 的な自給飼料生産 を推進し、営農活 動の回復を支援す る。
-	-				-		-	11,232,000	5,200,000	3,380,000		2,652,000	-	-		-

注1 別記様式1-2号に準じて作成すること。

2 県による評価は最終年度のみ記入する。

3 「事業実施主体の評価」欄と、「市町村の評価」欄及び「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。